

2010年度 菜の花飯山サイクルロードレース

<同時開催> 2010年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第1戦 菜の花飯山ラウンド

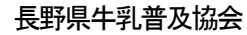
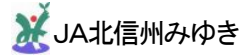
大会要項

主催 菜の花飯山サイクルレース実行委員会

共催 長野県自転車競技連盟

後援(予定) 飯山市 飯山市教育委員会 NPO 法人飯山市体育協会 飯山市観光協会 信濃平観光協会 戸狩観光協会

協賛(予定)



主旨 本大会は一般自転車愛好者(競技者登録をしていない者)を対象とし、ヒルクライムならびに個人タイムトライアル競技の優勝者を決めるとともに、地域における自転車競技の普及と発展、及びスポーツ振興に寄与することを目的とする。

日程 2010年 4月17日(土) ~ 4月18日(日) 【 どちらか1日のみの参加も可能 】

<1日目 4月17日(土)> ヒルクライム競技

09:00~09:30 選手受付 信濃平駐車場

10:15 開会式

10:30 ヒルクライム 5.7km スタート

11:40 選手降下

12:00 受付地点近傍にて各クラス上位3選手表彰

13:00~13:30 競技者登録クラス選手受付 信濃平駐車場

14:00 競技者登録選手 ヒルクライム ヒート1

15:00 " ヒート2

16:00 " ヒート3

16:30 選手降下

16:45 受付地点近傍にて各クラス上位3選手表彰

全日本学生
ロードレース・カップ

<2日目 4月18日(日)> 個人タイムトライアル競技

08:00~08:30 選手受付 長峰スポーツ公園

09:00~10:00 個人タイムトライアル 2.5km 1分間隔スタート
(1.15km×2周回+0.2km=2.5km)

10:15 上位3選手表彰、ならびに2日間総合表彰

10:00~10:15 クリテリウム クラス3受付

10:30~11:20 クラス3A ポイントレース 40分+5周回

11:30~12:20 クラス3B ポイントレース 40分+5周回
準備整い次第、クラス3上位3選手表彰

12:00~12:15 クリテリウム クラス1+2受付

12:40~14:30 クラス1+2 ポイントレース 100分+5周回
準備整い次第、クラス1および2の上位3選手表彰
ならびに2日間総合表彰

全日本学生
ロードレース・カップ

会場 <1日目 4月17日(土)> ヒルクライム競技
長野県飯山市 県道411号 飯山新井線 信濃平入口～鷹落山頂上付近
登坂距離 5.7km 標高差 484m 1回登坂
積雪状況、天候等による距離の短縮、競技の中止がありえますので、ご了承ください。

<2日目 4月18日(日)> 個人タイムトライアル競技
長野県飯山市 長峰スポーツ公園 針湖池外周コース
距離 2.5km (1.15km×2周回+0.2km=2.5km)

資格 健康な中学生以上の男女
安全に競技のできる自転車、ヘルメット、グローブを持参できる方
日本自転車競技連盟登録選手であることを要件としません
開催クラスは以下のとおりとします

男子 高校生以上	1995年4月1日以前に誕生した者
男子 中学生	1995年4月2日から1998年4月1日までに誕生した者
女子 高校生以上	1995年4月1日以前に誕生した者
女子 中学生	1995年4月2日から1998年4月1日までに誕生した者

- 申込
1. 参加を希望する者は参加申込書に記入のうえ、4月9日(金)までに飯山市教育委員会事務局スポーツ振興係までFAXもしくは郵送にて申込んでください。また、スポーツ振興係窓口でも申込みを受付けます。
<申込先>
〒389-2322 飯山市大字飯山1110-1
飯山市教育委員会事務局 スポーツ振興係
TEL 0269-62-3111 FAX 0269-62-5990
 2. 参加料はどちらか1日のみ参加の場合は1,500円、2日とも参加する場合は2,000円となります。
 3. 参加料について、窓口にて申込む場合は同時に現金でお支払ください。
それ以外の場合は、参加者名にて下記口座までお振込みください。
<振込先>
長野県信用農業協同組合連合会 飯山事務所 普通 438
菜の花飯山サイクルレース実行委員会 事務局 今井吉春 (イマイヨシハル)
 4. 申込後はいかなる場合でも参加料は返却いたしません。また、交通費、宿泊費等も補償いたしません。
 5. 宿泊を希望する場合は宿泊申込書に記入のうえ、戸狩観光協会まで申込んでください。
 6. 全ての参加者に、参加賞を用意いたします。(09年はバイクボトル)

受付場所 <1日目 4月17日(土)>
信濃平駐車場の特設本部テント
別紙会場図を参照
指定時間内に、受付場所にて【事前にお送りする受付表】を提示し、ゼッケンを受け取ってください。

<2日目 4月18日(日)>
長峰スポーツ公園の特設本部テント
別紙会場図を参照
指定時間内に、受付場所にて【事前にお送りする受付表】を提示し、ゼッケンを受け取ってください。

競技規則 2010年度 菜の花飯山サイクルロードレース大会 1日目ヒルクライム競技特別規則
2010年度 菜の花飯山サイクルロードレース大会 2日目個人タイムトライアル競技特別規則

成績 1日目:ヒルクライム (一斉スタート、フィニッシュ通過順で成績とする)
2日目:個人タイムトライアル (1分間隔の単独スタートで独走し、所要時間の少ない順で成績とする)
総合成績:1日目のタイムと2日目のタイムを5倍したタイムの合計で総合成績を算出する。

表彰 1日目:競技終了後 受付地点近傍にて 開催クラスごとにヒルクライム上位3選手を表彰します。
男子高校生以上の部上位3選手については、主催者で1日のみ有効な日本自転車競技連盟競技者登録を行います。よって、午後の全日本学生ロードレース・カップに参加することが出来ます。
表彰対象選手は受付地点付近に待機し、必ず表彰式に出席してください。

「2010年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第1戦 菜の花飯山ラウンド」ヒルクライム日程

13:00~13:30	登録選手受付	信濃平駐車場
14:00	登録選手	ヒルクライム ヒート1
15:00	"	ヒート2
16:00	"	ヒート3
16:30	選手降下	
16:45	受付地点近傍にて各クラス上位3選手表彰	

※ 安全な競技運営を行うため、主催者の判断により出走できない場合がありますので、ご了承ください。

2日目:競技終了後 フィニッシュ地点近傍にて 開催クラスごとに個人タイムトライアル上位3選手を表彰します。
個人タイムトライアル表彰終了後、開催クラスごとに2日間の総合成績上位3選手を表彰します。
表彰対象選手はフィニッシュ付近に待機し、必ず表彰式に出席してください。

※ 賞品は当日発表とします。

事故責任 主催者による健康診断は行いません。各自の責任において健康に十分留意のうえ参加してください。
レース中、万一事故が発生した場合でも、主催者は傷害保険に加入している範囲以外の責任は負いません。
急病、傷害、死亡、器物破損、自転車の盗難などは、すべて参加者の責任とします。
必要な方はあらかじめご自分の責任で保険等にご加入ください。
第三者に対する賠償も、参加者の責任とします。特に一般公道での安全確保については十分注意してください。
参加者は必ず健康保険証を持参してください。

注意事項

1. 安全確保は参加者の責任です。必要な道路交通法および交通ルールマナーを守り、走行してください。
2. 走行時は必ず自転車用のヘルメットを着用してください。
3. 自転車は十分に整備された安全なものを、参加者各自の責任で用意してください。
特にブレーキ等は必ず点検をお願いします。
4. パンクなど自転車の修理・管理は、参加者各自の責任で行ってください。
主催者は修理等を一切行いません。
5. 中高生など未成年の参加者については、使用する自転車の状態に保護者が必ず責任を持ってください。
6. 自己および他者に危険を及ぼす行為、危険を及ぼすと思われる行為は全て禁止します。
7. この注意事項に記載されていないことであっても、安全上好ましくないと思われる場合や、自己および他者に対して危険を及ぼすことが予想される場合は、主催者側の判断で走行を棄権していただきます。
8. 安全に配慮し、参加者の前後に誘導車が付きまますので、その指示に従って走行してください。特にヒルクライムレースのフィニッシュ後、スタート地点に戻る際は、主催者の誘導に従い安全に走行してください。
9. 予定プログラムは変更する場合があります。

注意：大会要項は諸事情により予告なく変更される場合があるので、飯山市ウェブサイトを随時確認すること。

2010年度 菜の花飯山サイクルロードレース
1日目 ヒルクライム競技特別規則

第1条(競技)

1. スタート地点から信濃平頂上付近までの登坂競走とし、着順により順位を決定する。
2. スタート位置はクラスごとに表示されるので、競技役員の指示に従うこと。
3. スタートは一齐スタート。スタート後、赤旗を示している間は非競技区間とする。
4. 集落から外れて、集団の隊列が整っている場合、先導車から緑色の旗を出して競走開始を指示する。
5. フィニッシュ右側から着順を判読するため、右側の腰にゼッケンを装着すること。

第2条(防寒対策、降下)

1. 氏名を書いたビニール袋に防寒用具を入れて、先導車に預けることができる。先導者はフィニッシュ地点で待機する。主催者は選手荷物の紛失・盗難について、一切責任を負わない。
2. 最終選手フィニッシュ後、先導車輛の誘導で、安全な速度で坂を下る。競技後、降下中に大きな事故が発生しやすいので、安全走行に努めること。

第3条(積雪等への対応について)

1. 積雪等によりコース上部が通行できない場合は、距離を短縮し競技を行う。
2. 積雪等の状況によっては、競技を中止することもある。

2010年度 菜の花飯山サイクルロードレース
2日目 個人タイムトライアル競技特別規則

第1条(競技)

1. 1分間隔でスタートし、2.5km(2周回+200m)を単独で走行、その所要時間により順位を決定する。
クラスごと、前日のヒルクライム順位の逆の順位でスタートする。スタート時刻は当日、受付にて発表する。
各クラスの優勝選手は、それぞれのクラスの最後にスタートすることになる。
スタートは発送台を用いる。
2. スタート時刻に遅れた場合も、正規の時刻にスタートしたものとみなして計時する。
フライングを犯した場合、1秒単位に切り上げて、その2倍の秒をペナルティーとして与える。
(0.1秒のフライングの場合、1秒に切り上げて、2秒をフィニッシュ通過時刻に加算する)
3. フィニッシュ付近は走行レーン(進行方向に対して)を以下の3本に分ける。
最左レーン 0.15km 地点を走行する選手用
中央レーン 1.3km 地点を走行する選手用
最右レーン 2.5km ゴールする選手用 (フィニッシュ計時は最も右側のレーン通過選手にだけ行う)
4. 走行中 前方選手の真後ろ25m以内を走行してはならない。(空気抵抗で有利な位置となるため)
走行中 前方選手を追い抜く場合、左右間隔1m以上開けること。
5. 飲食料の補給は認めない。
6. 競技中事故(転倒、機材故障、パンク)が発生した選手は、最終選手の後に引き続いて、最出走する権利がある。
再出走を希望する選手は、フィニッシュ地点審判長まで直ちに申し出ること。

第2条(その他)

1. ジュニア選手に対してレース後抜き打ちでギヤ比検査を行う。
今大会はJCF未登録選手を対象とした大会であるので、ペナルティーの対象とはならない。
日本自転車競技連盟における、正規の大会では、ペナルティーの対象となっている。
若手選手の故障防止の観点から、最大ギヤ比制限を遵守することを強く推奨する。

日本自転車競技連盟競技規則 要点

- 使用自転車 ロードレーサーで完全に作動するブレーキが2個あること
- ヘルメット 着用すること。日本自転車競技連盟(JCF)マーク付きを推奨
- グローブ 着用を強く勧めます
- 個人タイムトライアルでは、空気抵抗で有利になる前方選手の真後ろを走行してはならない。
- 個人タイムトライアルでは、追い抜く場合、左右に十分な間隔をとって追い抜くこと。
- 最大ギヤ比 1992年1993年生まれの選手に推奨する ギヤ比の上限 52×14
1994年1995年生まれの選手に推奨する ギヤ比の上限 52×16
1996年1997年生まれの選手に推奨する ギヤ比の上限 46×16

注意：大会要項は諸事情により予告なく変更される場合があるので、飯山市ウェブサイトを随時確認すること。